

市民が集まり、憩い、楽しめる緑豊かな場所にいたしましょう



# 森の中の高知駅



高知を愛する皆様へ（「お知らせ」令和3年7月号）

令和3年7月1日

うっとおしい梅雨空を忘れさせてくれるように、季節の花が咲き競っています（写真）。さて、今月の活動予定をお知らせいたします。毎度応援して下さる女性軍が有難い存在。7月11日（日）09:00～10:30 南口電停脇『みんなの庭』で元気すぎる夏草の除去。＜8月は水遣り精出し月間。共同活動はお休みです。9月は12日（日）の予定です＞

○トピックス：

- 6月13日（日）：暑からず寒からずの曇り空のもと、夏～秋花（マリーゴールド、トレニア、ペンタス、ミリオンゴールド、花スベリヒユなど200株）を植え付けました。
- 6月14日（月）：高知市みどり課を訪問、植替えの報告と花苗のお礼をいたしました。南口の枯れたヤシの名前は「カナリーヤシ」で、西アフリカ・カナリー諸島原産。南日本でよく見られるよし。駅前に植えられたそもそものいきさつなど市で調べてくださるそうです。



大きく育て！整然と植えられた夏花



ユリの花は今が盛り



キキョウも見逃せません

駅前緑化活動はご賛同の方々のご厚志で維持されております。引き続き皆様のお力添え（花苗持ち寄り、勤労奉仕、ご寄付など）をお願い申し上げます。

♥森の中の高知駅♥ 幹事連絡先：〒780-0042 高知市洞ヶ島町1-11  
中田昌志 携帯電話：090-8849-3651 E-mail：[m.nakata1941@gmail.com](mailto:m.nakata1941@gmail.com)  
公文敏雄 携帯電話：090-7016-3743 E-mail：[kumont2@yahoo.co.jp](mailto:kumont2@yahoo.co.jp)  
ホームページ：<http://mori-kochi-eki.jimdo.com/>

取引銀行：四国銀行よさこい咲都支店「森の中の高知駅 代表中田昌志」名義 普通 0709695

## 緑のまちづくりを考える（49）

### 「悪夢の東京オリンピック」と1545の木霊（こだま）



あと3週間ほどでオリンピック開幕ですが、国民が一つになり、高揚感に包まれた1964年の東京五輪を知る筆者は、「開催強行」という言葉に言い知れぬ淋しさを感じずにはられません。ある海外主要メディア(\*)は、「悪夢の東京オリンピック」と報道しました。公式エンブレムの盗作露見に始まり、新国立競技場設計の差し替え（ザハ案の巨額建設費・奇妙なデザイン）、五輪招致にまつわる買収疑惑、新型コロナウイルス感染拡大による大会延期、開催費用の跳ね上がり（当初発表70億ドル→実際見込み350億ドル＝3.8兆円）などが、日本国民にとっては「悪夢」でしかないというわけです。（\* June17, ABC Australia）

主舞台の新国立競技場は、急遽リリーフ役を請け負った建築家隈研吾氏の働きで、費用を極力抑えた「杜のスタジアム」に変身しましたが、規模の思い切った縮小はもともと主催者側の念頭にありませんでした（下の図表ご参照）。

たいへん残念なのは、4年前になされた日本学術会議環境学委員会（石川幹子座長）の提言「森の保全、神宮外苑の歴史を踏まえた競技場整備を」が無視され、敷地面積確保のため、1545本もの命ある樹木が伐採されたことです（明治神宮発行「代々木」令和3年夏号より）。

外苑の杜は、100年前の神宮創建以来、先人が内苑ともども育ててきた「ご神木」です。古くから自然をカミと畏れ、自然と共に生きてきたはずの日本人の心はすっかり失われてしまったのでしょうか？ 木霊たちの哭声が「怒り」に変わらないことを祈るばかりです。

#### 巨大化した新国立競技場（建て替え前の旧競技場との比較）

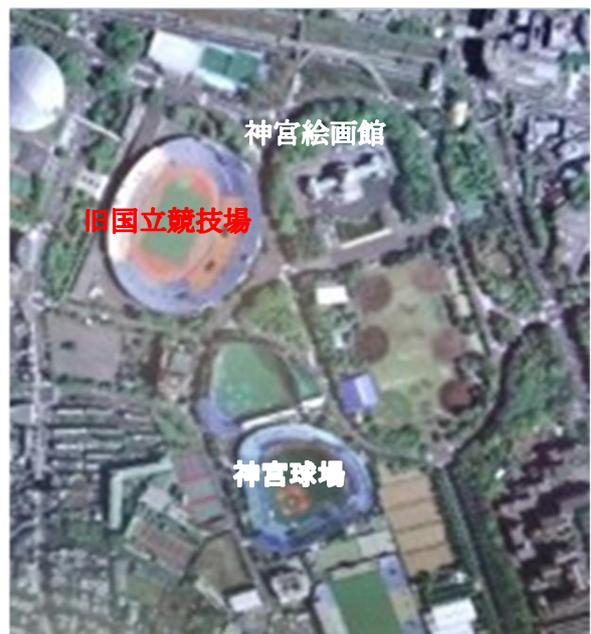
敷地面積：約11万㎡（旧の1.5倍、樹木伐採により拡張）

建築面積：約7万㎡（旧の2倍）、建蔽率：63.4%（旧45.5%）

高さ：約47m（旧競技場は28mで、低いスタンド越しに神宮絵画館が望めた）



神宮外苑の最新航空写真(Google Map より)



建て替え前の航空写真